



今月のトピック

厳寒期の温度と湿度



日照時間が最も短い冬至を過ぎる頃になると、日の入時刻はだんだん遅くなり、日の出時刻は少しずつ早くなってきます。しかし、気温はまだまだ低い時期が続きます。低温期の温度管理は湿度にも影響します。ハウス内の温度を見直してみましょう。

ハウス内の温度ムラを最小限にしましょう

● 温度ムラは湿度ムラにつながります

ご自身のハウスで病気が出やすいところ、ダニが発生しやすいところはありませんか？ 相対湿度は温度に影響され、温度に1℃の差があるだけで相対湿度が5%も差がつくこともあります。ハウス内の温度ムラを解消することも、病気対策、ダニ対策となります。

● 温度ムラを小さくするには

- ✓ 暖房機 容量の見直し
- ✓ 送風ダクトの太さ、本数、配置、穴数の見直し
- ✓ 暖房機の送風機能や循環扇の利用
加温が必要でないタイミングでも
ハウス内の空気を動かす

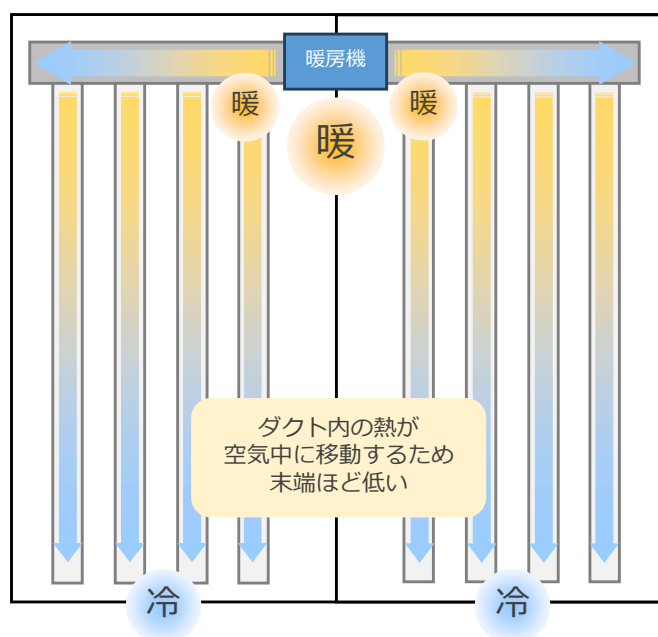
◎ 高湿度で発生する病気への対策 ◎

温度ムラの影響を受けない条件で管理する
1℃の温度差は相対湿度5%の差
2℃低いところは相対湿度が10%も高い！

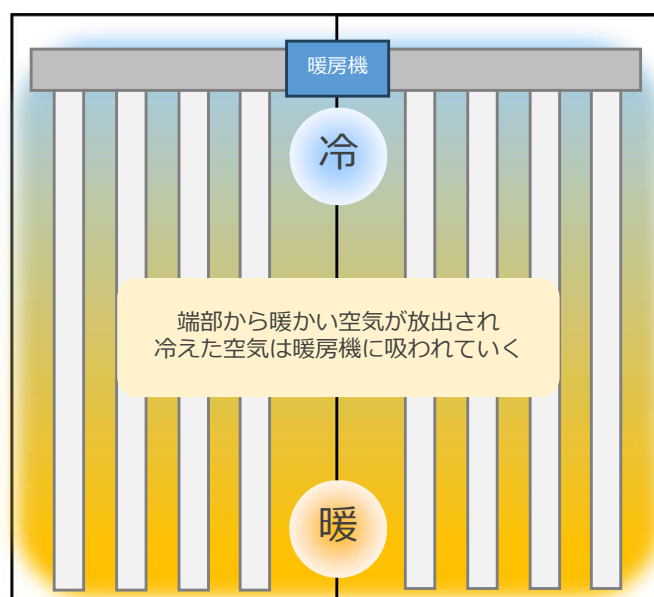
⇒ 温度ムラはゼロにはできないため、
温度ムラがあっても病気が発生しないように
ハウス内湿度を管理しましょう

【 暖房機使用時の理想的な温度分布 】

暖房機の送風ダクト内の温度は、暖房機周辺が最も高く、暖房機から離れるにつれて徐々に下がっていきます。



ハウス内温度は暖房機から最も離れた場所が最も高くなり、暖房機付近は低くなります。



暖房機周辺の気温が高い場合は、熱がうまくハウス全体へ送られていない可能性があります。ダクト本数やダクトの穴数・穴ピッチを見直してみましょう。

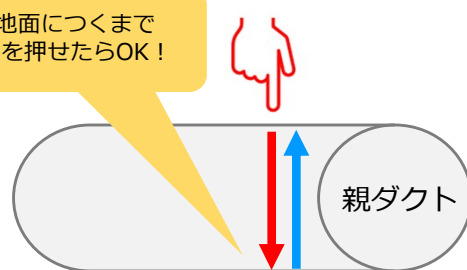
❖ 送風ダクトの簡単チェック！

膨らんでいる親ダクトを指1本で押すだけ！

- ① 膨らんでいる親ダクトを、強い力を入れずにスーッと指が地面につくまで押すことができる。
- ② ダクトを指で押したあと、指を離すとダクトが元に戻る。（押した指を離れたときに少し跳ね返りを感じる）

⇒ 暖房機の送風能力に対してダクトの開口面積（ダクト本数や穴の数・大きさ）が適切であると簡単に判断できます！ダクトがパンパンに張っている場合は、加温の効率が悪く温度ムラの原因になるほか、暖房機にも負荷がかかっている状態です。

指が地面につくまでダクトを押せたらOK！

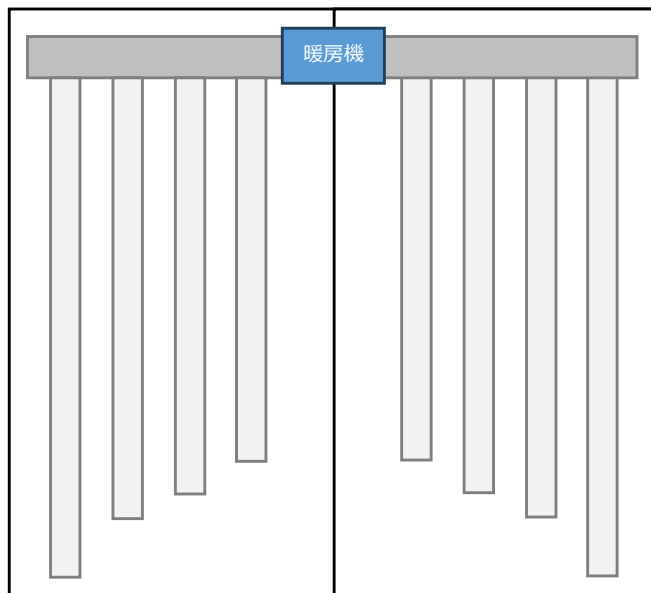
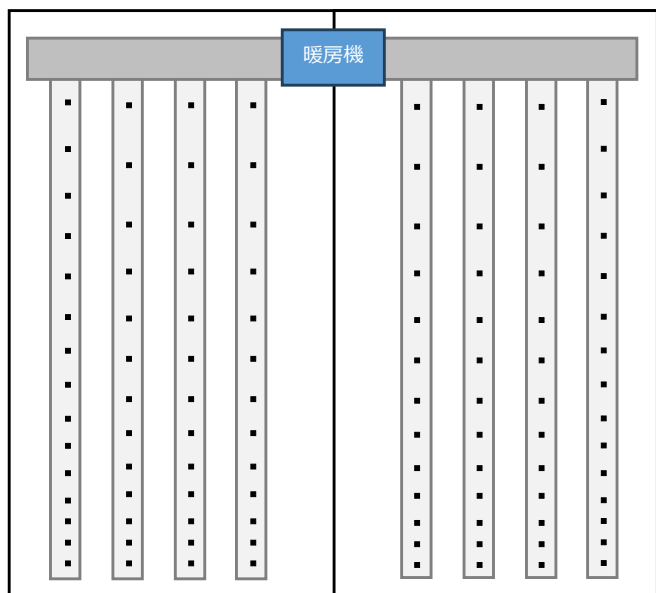


指を離すと少し跳ね返りを感じ、ダクトが元に戻っていく

【送風ダクト配置例】

冷えやすいサイド換気周辺、暖房機から最も遠いところは穴数を増やす

暖まりやすい中心部のダクトは短く、冷えやすいハウスの角は長くする



植物の状態を確認しながら（温度が低く成長が遅い、湿度が高く病気が出やすいなど）、冷えやすいところのダクト本数を増やす、穴を多く開けるなどして、最終的にハウス全体の温度ムラが少なくなるように調整していきます。

冬の温湿度管理におすすめ！『だんぼう当盤』のご紹介

● 高機能多段サーモ『だんぼう当盤』

【特徴】

- ・ 通風センサーボックスでハウス内の温度と湿度を計測
- ・ 暖房設定は8段変温で設定可能
- ・ 除湿設定は最大4段設定可能
- ・ 加温機の送風をタイマー間欠運転できる
- ・ 履歴で過去30日分式の動作を確認



	開始時刻	終了時刻	目標温度(度)
1段	12:12	~12:12	12.3 ~ 12.3
2段	12:12	~12:12	12.3 ~ 12.3
3段	12:12	~12:12	12.3 ~ 12.3
▼4段	12:12	~12:12	12.3 ~ 12.3

除湿2段	
設定時刻	12:12 ~ 12:12
開始湿度	12%以上
停止湿度	12%以下
着火温度	目標温度+12.3度以下

設定はすべてタッチパネルで操作
難しい設定は少ないです！